

小・中学生の学力向上への長期的対策は

ふるさと学習に探求型授業を組み込む

一問一答方式



杉浦 文平 議員
無所属クラブ

全国学力テストについて

問 本年度の学力テストで、県の小学校の国語の平均点では全国最下位、田原市は県よりさらに下であったが、その結果をどう捉えるか。

答 大変重く受け止め、各校で授業改善などに努める。

問 過去直近の状況は。

答 平成25年度は、全国・県と比べて小学校は若干低く、中学校は高い。平成26年度は小学校は低く、中学校は国語がほぼ同程度、数学は県より下で、国より上。

問 学力テストの結果分析、課題の洗い出しはいつ行うのか。

答 2月には最終的な対策が各校から提出される。



学力日本一 秋田県の取り組み (秋田県大仙市立太田南小学校)

問 家庭での学習見直しの具体策は。

答 決められた課題だけでなく、子ども自らが取り組む環境を工夫していく必要がある。



家庭学習ノート

問 長期的展望に立った効果的な対策は。

答 田原市の「ふるさと学習」に探求型の授業を組み込む等の授業改善を考えている。

問 学力テストの成績上位校の公表は。

答 文科省通達・県の指示で、過度の競争を避けるため公表はしない。

問 授業改善策の財政支援を文科省に求めては。

答 必要がある場合は、県教委を通して要望を出す。



豊橋市資源化センター



分別すればごみは資源に

問 ごみ有料化の考え方は。
様々な減量・資源化施策を講じていく中で、受益者負担の公平性を確保する有料化の導入を検討していきたい。

答 有料化では、ごみ減量化の問題は解決しない。有料化計画は撤回するべきでは。
袋に手数料を付加すると、分別により燃やせるごみが減ったという事例がある。払える程度でなるべく高く付加すれば、持続してごみを削減できるという結果が出ている。